

## GBP / JPY 英ポンド円 月次レポート

前月振り返りと2026年9月の相場展望

発行日

September 1, 2026

対象期間

8月実績 / 9月展望

通貨ペア

GBP / JPY

発行頻度

Monthly

8月末レート（終値）

216.428

+1.89%（8月月間騰落率）

8月高値

217.465

8月安値

209.536

BOE金利

3.75%

BOJ金利

1.00%

## 今月のハイライト

8月は212.42円からスタートし217.47円まで上昇し、216.43円で引け、月間+1.89%となった。ポンドが対円で底堅く推移した

BOEは8月に会合がなく、政策金利は3.75%で継続。7月会合（6対3）の議事要旨で3名の委員が利上げを支持する姿勢を維持していることが確認された

日銀は8月に会合がなく、政策金利は1.00%で継続。8/27に氷見野副総裁が9月会合を含む毎回の会合で利上げを検討していく旨を述べた

英日金利差は2.75ppと大きく、月間を通じてポンドの下値は限定的だった。9月のBOE・日銀会合が次の方向性の焦点となる

9月 基本シナリオ レンジ

211 – 220円

BOEは9/17、日銀は9/17-18に会合。英日ともに利上げの有無が焦点

英日政策金利差

2.75pp

BOE3.75% – BOJ1.00%。前月と同水準

始値

212.421

8月最初の取引日

高値

217.465

月中最高値

安値

209.536

月中最安値

月間騰落

+1.89%

+4.007円

## 8月の相場動向

8月のポンド円は**212.42円でスタートし、217.47円まで上昇する場面があった**。BOEは8月に会合がなかったが、7月会合（6対3）の議事要旨でグリーン・ピル・マンの3委員が引き続き利上げを支持する姿勢が確認されたことが、ポンドを下支えた面があるとみられる。

日銀は8月に会合がなかったが、**8/27に氷見野副総裁が9月会合を含め毎回の会合で利上げをしっかりと検討していくと述べ**、物価の上振れリスクに言及した。最終的に216.43円で引け、**月間+1.89%**となった。英日金利差は2.75ppと大きく、ポンドの下値は月間を通じて限定的だった。

## 主要イベントの影響

GB BOE / 8月は会合なし

**8月はBOEのMPCが開催されなかった**（次回9/17）

7月30日会合（6対3で据え置き）の議事要旨・MPRが公表済み。タカ派色が継続

グリーン（Greene）・ピル（Pill）・マン（Mann）の3委員が引き続き利上げを支持する立場を示した

JP 日銀 / 8月は会合なし・要人発言

**8月は金融政策決定会合が開催されなかった**（8月は年間スケジュール上の会合月ではない）

8月27日、氷見野副総裁は埼玉県での講演・記者会見で、物価の上振れリスクをこれまで以上に意識する必要があるとし、9月会合を含め毎回の会合で利上げについてしっかりと検討していくと述べた

現行の政策金利（無担保コール翌日物レートの誘導目標）は1.00%で継続。次回会合は9/17-18

## 8月の総括

8月はBOE・日銀ともに会合がなく、7月会合の議事要旨や要人発言が材料となった。BOE内でタカ派の利上げ主張が3名に達していることやポンドの金利優位が継続し、ポンド円は月間+1.89%と上昇した。一方、市場では氷見野副総裁の発言を9月利上げに向けた地ならしと受け止める向きもあり、9月のBOE・日銀会合がともに注目される。

## 9月の注目ポイント

9月は**BOE（9/17）と日銀（9/17-18）の会合が同時期に開催される**。BOEが利上げに踏み切れば英日金利差の拡大で債券高要因となる一方、日銀が追加利上げを実施すれば円高要因となりえ、方向感が定まりにくい展開も想定される。英国のCPIやサービス業インフレが引き続き注目される。

## シナリオ別レンジ予測

|    |     |                            |            |
|----|-----|----------------------------|------------|
| 強気 | 30% | BOEが利上げ実施または追加利上げ観測が強まり債券高 | 216 – 222円 |
| 基本 | 50% | BOE・日銀ともに市場予想の範囲内でレンジ推移    | 211 – 220円 |
| 弱気 | 20% | 日銀が追加利上げ、またはBOEが慎重姿勢で債券円下落 | 207 – 214円 |

## リスク要因

| リスク要因               | 確率 | 方向  | 概要・影響                            |
|---------------------|----|-----|----------------------------------|
| BOEの9月追加利上げ観測（9/17） | 中  | 債券高 | タカ派委員が増えるなど利上げ観測が強まれば債券が買われやすい   |
| 日銀の9月追加利上げ（9/17-18） | 中  | 円高  | 1.25%への利上げなら金利差縮小を意識した円買いが強まりやすい |
| 英サービス業インフレの高止まり     | 中  | 債券高 | インフレの粘着性が確認されればBOEの利上げ観測が一段と強まる  |
| 英景気・雇用の悪化           | 中  | 債券安 | 景気減速が意識されればBOEの引き締め余地が後退し債券売りに   |

## 9月の見通し

基本シナリオは**211～220円のレンジ**とみている。英日金利差は2.75ppと大きく債券の下値は限定的との見方がある一方、9月に日銀が追加利上げに踏み切ればBOEの利上げ観測との綱引きとなる。BOEと日銀の会合が同時期に集中するため、値動きが大きくなる可能性に留意したい。

### 用語解説

#### BOE（イングランド銀行）

英国の中央銀行。8月は会合なし。タカ派3名が利上げを支持。次回9/17。

#### 日銀（BOJ）

日本銀行の略称。8月は会合なし。氷見野副総裁は9月会合を含む毎回の会合で利上げを検討する旨を述べた。次回9/17-18。

#### クロス円

米ドルを介さない円と他通貨の交換レートの総称。ポンド円はドル円とポンドドルの動きに影響を受けやすい。

#### MPC

BOEの金融政策委員会。9名の委員が投票で政策金利を決定する。7月は6対3で3.75%を据え置き。

#### 政策金利 / 金利差

中央銀行が設定する基準金利。BOE3.75%とBOJ1.00%の差は2.75pp。

#### キャリートレード / 巻き戻し

低金利通貨（円）で高金利通貨を運用し金利差収益を狙う取引。リスク回避時の一斉解消は円高要因となりやすい。

### 免責事項

- 本情報は、AI（Anthropic社が提供するClaude）（以下、情報提供者）が作成し、GMOあおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）がお客さまに提供いたしますが、当社および情報提供者が参照した情報およびそれに基づく情報提供者の見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。
- 本情報は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本情報で言及した通貨や投資戦略は、投資に関する経験や知識、経済状況および投資目的が異なるすべてのお客さまに、一律に適合するとは限りません。
- 投資判断の最終決定は、お客さまご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 本情報に記載された内容は、公開時においては最新の情報でない可能性があります。
- 本情報に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、当社および情報提供者は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 著作権等：本情報に係る著作権その他の知的財産権は、別段の表示がない限り、当社に帰属するものとします。